

「新年度のスタート」

4月10日に中学部1人、高等部3人の新入生を迎え、全校児童生徒16人と教職員29人で平成29年度がスタートしました。児童生徒たちは学年が一つ上がり、それぞれの夢と希望に胸を膨らませています。

本年度も教職員一同「児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた指導・支援をとおして、個々の可能性を伸ばし、現在の生活の充実と将来の自立と豊かな生活につながる教育を行う」という目標に心を一つにして取り組んでいきます。いつでも御都合の良い時に学校にお出でいただき、児童生徒の頑張っている様子を見ていただければと思います。

熊本地震から1年が経ちました。県内各地が大きく傷ついて、もう1年なのか、ようやく1年なのか、その思いは状況や場面によって変わります。厳しい現実の中にも季節は巡って色とりどりの春の花が咲いています。

陽光（ようこう）という桜の種類を御存知でしょうか？校長室の窓のすぐ横に本校第11代校長 田端眞理子先生が植えられた2本の桜の木があります。そのうちの1本が陽光桜です。今年は4月に入って満開になりました。鮮やかなピンク色の大輪の花が春の訪れを感じさせます。聞くとところによると、この品種は平和のシンボルとして世界各地に送るために、どんな土地にでも適応する桜を作ろうと25年かけて交配を試して誕生したそうです。強風のなか今年もけなげに花を咲かせました。その姿はこの1年が平穏で平和であるように祈っているようです。



熊本地震を経験して、やはり日頃の備えが大切だと痛感しました。特に、児童生徒が安全安心であるためには、生活に必要な物資だけでなく、安全な場所の確保、教職員が適切に動くことができることや正しい情報を受け取れること、そして、人と人とのつながり（ネットワーク）を日頃から備えておくことが大切だと思いました。一つ一つ本校の実態に合わせて整えていきたいと思っています。

本年度も児童生徒を真ん中に学校と保護者の皆様や関係機関の方々と一緒に児童生徒の自立と豊かな生活を目指していききたいと思っておりますので、昨年度同様、御支援、御協力をよろしくお願いいたします。

平成29年4月17日